

BUSINESS REPORT

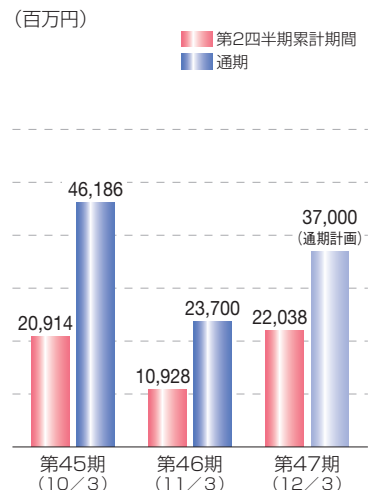
FUJI ビジネスリポート

第47期第2四半期累計期間
平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

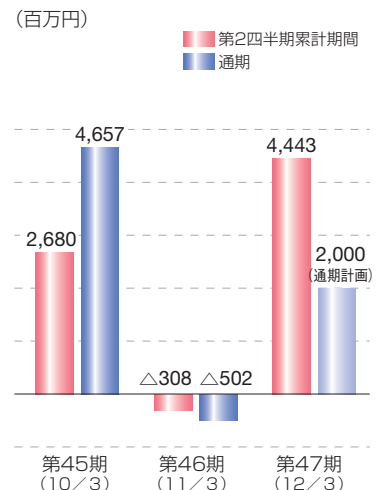
株式会社 藤商事



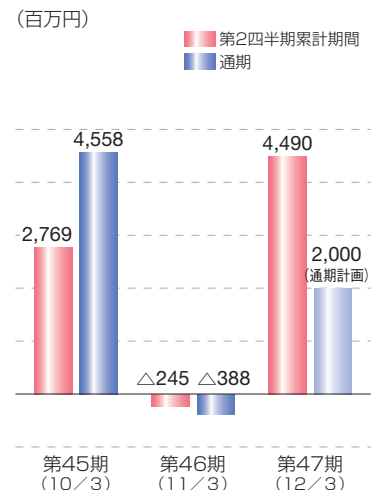
■ 売上高



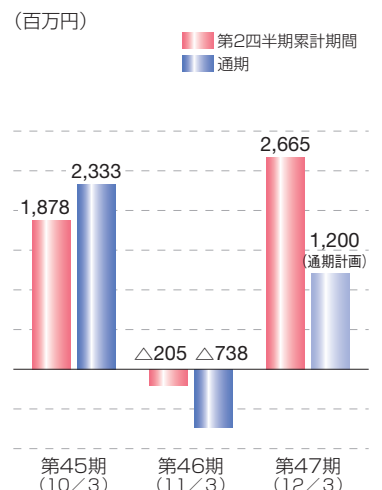
■ 営業利益(損失△)



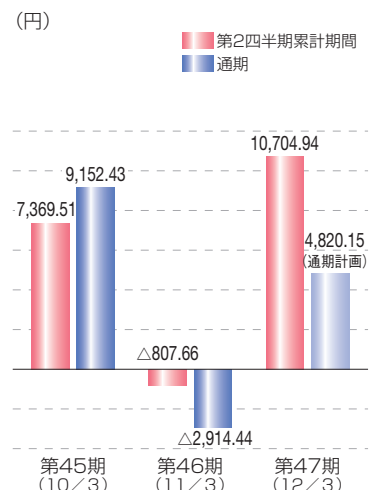
■ 経常利益(損失△)



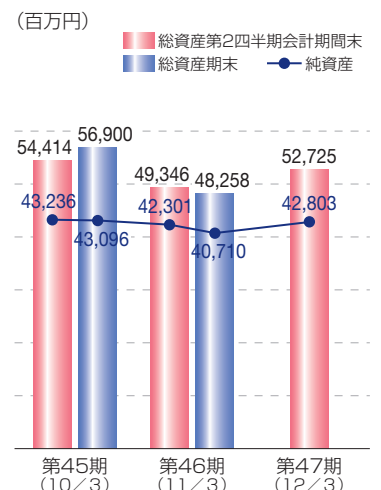
■ 四半期(当期)純利益(純損失△)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益(純損失△)



■ 総資産／純資産



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社第47期第2四半期累計期間のビジネスレポートをお届けさせていただきます。
ご高覧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や円高の長期化により、企業業績の低迷や個人消費の冷え込みに加え、雇用情勢の改善では足踏みが続くなど、景気は依然として厳しい状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、平成22年のパチンコ参加人口および市場規模は前年と比べ減少となりました。パチンコ遊技機では、低貸玉営業などで一定の集客効果をあげているものの、従来からの営業形態での集客や稼働は伸び悩みを見せており、収益面での厳しさは現在も続いております。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として、パチンコホールでの稼働は堅調に推移しております。

このような状況のもと当社は、遊技機のスペック、演出方法、ゲーム構成などのより一層の充実と向上や長期間の稼働を実現する要素の追求とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。

これらの取り組みに、さらなる磨きをかけ、当社ならではの商品を提供を目指しております。コーポレートスローガンにあります「ヒト味違うオモシロさ」を具現化し、パチンコファンの皆様にも長く愛されるパチンコ・パチスロ遊技機を市場にお届けし続けてまいります。

株主様からの一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年12月
代表取締役社長
松元 邦夫



社長インタビュー

黒字転換の勢いに乗り、
今後より一層、
長く愛される遊技機を
お届けし続けてまいります。



Q1 第47期上期の市場状況と、藤商事の
取り組みについてご報告ください。

A1 厳しい市場状況のなか、前期の課題を徹底検証
することで、黒字転換を実現しました。

パチンコホール業界におきましては、平成22年のパチンコ参加人口が前年比50万人減少の1,670万人となり、市場規模は1兆6,850億円減少の19兆3,800億円となりました((財)日本生産性本部「レジャー白書2011」)。このため、パチンコホール様の遊技機の導入に関しても慎重な姿勢が続くなど、当業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあると言わざるを得ません。

当社は、こうした状況のなか、最重要課題として、「稼働力の向上」を挙げており、第47期は、前期発売機種の不振要因を従来にも増して徹底的に洗い出すところから始めました。ファンの皆様にも長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、大当たりに至るまでの「間持ち感」ある演出の創り込みを強化するなど、改善策をスピーディーに実行。また、版権のタイアップ戦略として、「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」シリーズをはじめとして、著名版権の持ち味を活かすことに注力し、作り手の我々が納得できるまで徹底的にこだわったモノづくりに取り組みました。

これらの取り組みにより、上期発売の各機種ともに当初の計画を上回る販売台数となりました。特に「CRリング 呪いの7日間」シリーズは、パチンコホールへの導入後、稼働面での好評価により、追加受注をいただいております。

こうした改善の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高220億38百万円(対前年同期比101.7%増)、営業利益44億43百万円(前年同期は営業損失3億8百万円)、経常利益44億90百万円(前年同期は経常損失2億45百万円)、

第47期 上期の活動ポイント

稼働力の向上
長期間の稼働を実現する要素の追求
→「間持ち感」の創り込みを強化

利益計画の着実な達成
a)販売計画の達成 b)収益力の強化
c)材料ロスの低減

四半期純利益26億65百万円(前年同期は四半期純損失2億5百万円)となりました。

Q2 新たな流行を創り出すための
今後の取り組みについてお聞かせください。

A2 「オモシロさ」と「お客様目線」に立った
モノづくりにこだわります。

当社が目指しているのは、「流行を創り出す」ことです。流行を追いかけるのではなく、流行を先取りすること。そしてそれは、「オモシロさ」へのこだわりでもあります。前期の業績不振によって、そのことを再認識し、もう一度、藤商事らしさとは何かを考え、魅力あふれる遊技機の開発に取り組んでいます。

パチンコホールに来られるお客様に、心から楽しんでいただけるもの。そして、パチンコホール様にとって重要な稼働力の向上につながるものを、開発し送り出していくために、当社では、開発体制の再構築を行ってまいります。まず、「お客様目線」で開発するために、これまでの企画開発会議に営業スタッフが

参加し、より現場に近い営業スタッフの意見を反映させたモノづくりを進めていくことにしました。

また、コーポレートスローガンである「ヒト味違うオモシロさ」の追求の一つとして、上期でも好調であった『ホラージャンル』の確立も目指します。下期には、ストーリー性はもとより、映像表現にもこだわった「CR地獄少女」をリリース。

他にも、パチンコ遊技機3機種とパチスロ遊技機1機種の発売を計画しています。

Q3 株主還元に対する
基本的な考え方について、お聞かせください。

A3 中間配当金は当初の予定通り
1株当たり2,250円とさせていただきます。

当社のモノづくりの先には、企業価値の向上と、株主の皆様への適正な利益還元という大目標があります。今期中間配当金としましては、継続した配当の基本方針に基づき、1株当たり2,250円とさせていただきます。

今後とも、株主の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

第47期 下期の目標

新たな流行を創り出す取り組み
→開発体制の再構築
→『ホラージャンル』の確立

タイアップ戦略の継続
→版権の持ち味を活かした企画

CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦



©永木プロ

パチンコでしか見ることのできない現代文明と鬼太郎の世界観を共存させた新演出満載。歴代シリーズ最大ボリュームで作り上げた「ヒト味違う」バトルパチンコとなっております。

CRゲゲゲの鬼太郎
妖怪頂上決戦

平成23年4月発売

CR 八丁堀の七人



©テレビ朝日・東映

「八丁堀の七人」は、片岡鶴太郎さん、村上弘明さん、萬田久子さん等豪華俳優陣が出演し、2000年から2006年にかけて、全7シリーズが放映された人気時代劇です。勧善懲悪シリーズ最新作『CR八丁堀の七人』、これを勧善懲悪と呼ぶにふさわしい、「ヒト味違う」捕り物パチンコです。

CR八丁堀の七人

平成23年6月発売

CRリング 呪いの7日間



©1998「リング」「らせん」製作委員会

「リング」は1998年に公開され、「貞子」や「呪いのビデオ」が大きな話題となり、ジャパニーズホラーの火付け役となった作品です。恐怖演出を追求し進化させた『CRリング 呪いの7日間』、「ヒト味違う」ホラーパチンコとして人気を博しています。

CRリング 呪いの7日間

平成23年7月発売

マジカルスロット
魔法少女隊アルス



©雨宮慶太/魔法少女隊Project

「魔法少女隊アルス」は、雨宮慶太原作、STUDIO4℃制作により、教育テレビで放映され、大人にも楽しめるアニメ作品として人気を博しました。『マジカルスロット 魔法少女隊アルス』、「ヒト味違う」異世界ファンタジーの世界が好評です。

マジカルスロット
魔法少女隊アルス

平成23年8月発売

CR 地獄少女

第一期～三期の本家キャスト・声優たちが、本機種のために書き下ろされたオリジナルストーリーと新曲で新たなる『地獄少女』をパチンコとして演出。晴らせぬ怨みを地獄へ流す…、『CR地獄少女』登場。



©地獄少女プロジェクト/スガパーフェクション・アプレックス ©地獄少女プロジェクト/三鷹製作委員会
The first used on the product is provided by Hokuju Form co., Ltd.

CR地獄少女

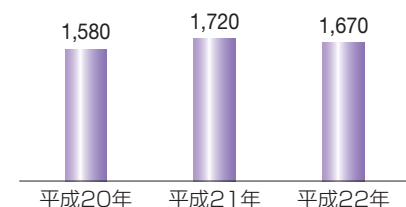
平成23年10月発売

上期の活動方針と成果

稼働力の向上

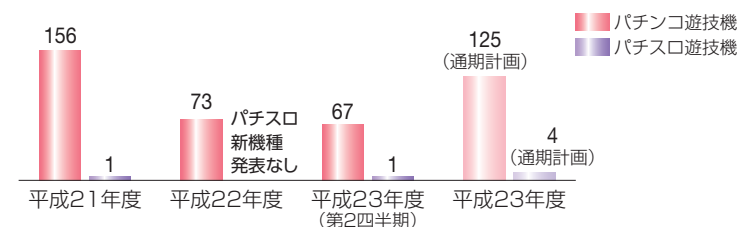
- ① 前期発売機種における稼働不振要因の徹底的な洗い出し → 遊技中の期待感を演出する「間持ち感」の創り込みを強化
- ② 稼働不振要因に対しスピーディーに改善を実行 → 「CRリング 呪いの7日間」パチンコホール導入後も好評により追加受注
- ③ 著名版權とのタイアップ戦略の継続 → 「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」エコ割と追加スペックの販売は好調
- ④ 新たな流行の創出と当社ならではの独自性の追求 → 顧客目線に一番近い営業スタッフの意見を反映したモノづくり『ホラージャンル』の確立

■ パチンコ・パチスロ参加人口の推移(単位:万人)



出典:(財)日本生産性本部「レジャー白書2011」

■ パチンコ・パチスロ販売台数(単位:千台)



下期の計画

下期発売計画

★	パチンコ遊技機	4機種
	パチスロ遊技機	1機種
	合計	5機種

■ 通期業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	(百万円) 37,000 対前期比:56.1%増	(百万円) 2,000	(百万円) 2,000	(百万円) 1,200	円 銭 4,820.15

■ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	39,897	35,987
固定資産	12,827	12,270
有形固定資産	7,487	7,839
無形固定資産	183	211
投資その他の資産	5,157	4,219
資産合計	52,725	48,258
負債の部		
流動負債	8,478	6,070
固定負債	1,442	1,476
負債合計	9,921	7,547
純資産の部		
株主資本	42,821	40,716
評価・換算差額等	△17	△5
純資産合計	42,803	40,710
負債純資産合計	52,725	48,258

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
売上高	22,038	10,928
売上原価	11,350	5,894
売上総利益	10,687	5,034
販売費及び一般管理費	6,244	5,343
営業利益又は営業損失(△)	4,443	△308
営業外収益	90	107
営業外費用	43	43
経常利益又は経常損失(△)	4,490	△245
特別利益	181	20
特別損失	7	59
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	4,664	△283
法人税、住民税及び事業税	1,650	63
法人税等調整額	348	△141
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,665	△205

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,417	△3,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559	△574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,387	△4,330
現金及び現金同等物の期首残高	20,674	26,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,062	22,068

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要・株式の状況 (平成23年9月30日現在)

■ 会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 378名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

■ 役員

代表取締役社長 松元邦夫
 取締役副社長 松元正夫
 専務取締役 井上孝司
 常務取締役 辻田隆
 取締役 羽山敏隆
 取締役 米田勝己
 取締役 渡辺勝治
 社外取締役 坪本浩一郎
 社外取締役 川添嗣夫
 常勤監査役(社外) 川西耕司
 監査役 近藤邦博
 社外監査役 堀弘二

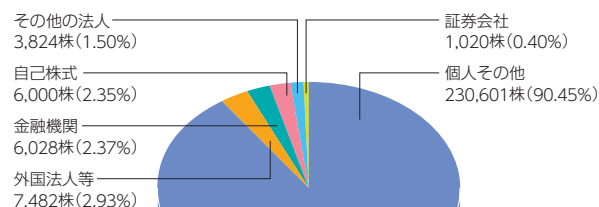
■ 事業所

名古屋事業所(名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 東京支店 横浜営業所 広島営業所
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所
 千葉営業所 京都営業所
 埼玉営業所 神戸営業所

■ 株式の状況

- 1) 発行可能株式総数 800,000株
- 2) 発行済株式の総数 254,955株
(自己株式6,000株を含む)
- 3) 株主数 6,192名

所有者別株式分布



4) 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	95,560	38.38
松元 正夫	65,626	26.36
釣谷 香揚子	24,280	9.75
吉田 嘉明	4,696	1.89
藤商事従業員持株会	2,810	1.13
松元 恵子	2,600	1.04
大阪証券金融株式会社	1,521	0.61
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	1,499	0.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,392	0.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,211	0.49

(注)1.当社は、自己株式を6,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

トピックス

■ 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

● ボランティア活動

・東日本大震災の被災地へのボランティア参加

6月から始まった被災地支援。きっかけは「被災地の復興を行いたい」との社員の声でした。会社の全面バックアップのもと毎月ボランティア隊を派遣し、9月までにのべ18名が参加しました。今後も継続してまいります。



● クリーンアップ活動

・ビーチクリーンアップin須磨

毎年9月に継続参加している須磨海岸(兵庫県神戸市)の清掃活動。本社および関西拠点の営業所の従業員、家族あわせて51名が参加しました。

ホームページ紹介

■ 藤商事のホームページでは、皆様楽しんでいただけるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。



携帯メディアを使った情報サービスも行っています。藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

CONTENTS

- ・アプリ
- ・着メロ
- ・着うた
- ・着ボイス
- ・待受画像
- ・動画
- ・待受アプリ
- ・待受フラッシュ



Menu | トップページ | メニューリスト
 カテゴリ(メニュー)から探す | ゲーム | ケータイゲーム
 ギャンブル/懸賞 | パチンコ/パチスロ | パチンコ/パチスロ
 パチンコ/パチスロメーカー | 藤MARU | 藤MARU☆EZ | 藤MARU

●「i-mode」及び「i-モード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
 ●「EZweb」はKDDI株式会社の登録商標です。
 ●「Yahoo! ケータイ」及び「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

月額315円(税込)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要ある時は、予め公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 友友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 友友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載致します。(http://www.fujimaru.com.jp)

ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。

BUSINESS REPORT



<http://www.fujimarukun.co.jp>



この報告書は、再生可能な植物油
インキを使用しています。